

研修会

淡 水 の 力 メ

佐藤一枝 〈千葉市〉

日 時 : 2014 年 7 月 19 日 〈土〉 9:00~12:00

場 所 : 匝瑳市 八日市場の川と八日市場公民館 (講義)

講 師 : 小賀野 大一氏 及び協力者 (千葉県野生生物研究会) 4 名

参加者 : 10 名

《野外観察会》 田園風景の広がる川に到着。川には、前日、小賀野先生と研究会の先生方で仕掛けで下さっています。仕掛けのところに [せんによる採捕許可標識] が標されていました。網を引き揚げるときの…ワクワク感！ アッ、カメ。クサガメ がかかつっていました。

クサガメ まず小鹿野先生が体重・年齢・大きさを測り、甲羅の決められた位置にマーキングと実践、してください。特徴・年齢の数え方・雌雄の区別を教えて頂き、実際、手にして観察。クサガメは臭い！？…後ろ足の付け根を嗅いでみてとの助言に、嗅いでみると “強烈な臭さ” でした。臭腺があり、そこから臭いを発する。外敵から身を護るためにどうとお話でした。(なお、「せん」とは、かごや筒を使用して獲る漁法のこと) 次々と仕掛けを揚げるとクサガメばかり。ところが黄色っぽいカメが1匹、**ニホンイシガメ**です… 記録して、皆で観察。 クサガメと比べてみました。



いるかな？！ 網上げを体験。



カメって可愛い！ うれしそうな人、初めて持ったという人も、



《淡水カメの生態と保全》 主な内容: 日本の淡水カメ類・千葉県の淡水カメ類・カメ取り巻く現況と保全について学びました。その中でクサガメについて…外来種であることを知り…驚いています。クサガメの確認ができたのは19世紀はじめの百科辞典【本草綱目啓蒙】が最初とされる。 江戸時代朝鮮半島経由で日本に持ち込まれた外来種である。 と講義を終わりました。

☆ カメをこんなによく観察したことはあったでしょうか？ 各自、手にしてまじまじと観察。記録の方法などと貴重な体験学習でした。 小賀野先生と先生方、本当にありがとうございました。

感想 ①初めてイシガメを触って観察することができました。クサガメとの違いもじっくり見ることができ感動しました。講師のお話も大変興味深く聞くことができました。②昔から人との係わりが多い “カメ”、意外と知られていない。初めての研修会、大いに勉強になりました。次回は、東葛・千葉でぜひ。③とても良い勉強になりました。④カメの調査の仕方が良く分りました。外来種のカメが多いことが驚きました。⑤クサガメがたくさんワナにかかったので、たくさん生息していて嬉しいと想ったが、これも外来種で、イシガメを駆逐してしまうので、駆除したほうが良いと聞き唖然とした。公園等でアカミミガメが愛嬌を振りまいっているが、それはそれで、イシガメとの共存を避けて住み分けて、暮らせるようにしたらよいとのことである。イシガメ保存会等立ち上げられているのか、積極的にふやす手立てがあるのか、産卵も観察してみたい。